

株式会社あいあいファーム 農林水産大臣賞受賞 おめでとうございます!!



【農林水産部】

NO.5

先進的な農林水産業の取組を讃える「6次産業化アワード(平成29年度6次産業化優良事例表彰)」の表彰式が平成30年3月1日(木)、東京都内で開かれ、株式会社あいあいファーム(沖縄県今帰仁村)が最高位である農林水産大臣賞を受賞しましたので、御紹介します。



(株)あいあいファーム取締役 加力謙一氏(右)と
野中農林水産大臣政務官(左)

事業者の概要

(株)あいあいファームは、今帰仁村において有機栽培により野菜、大豆などの農産物を生産するとともに、村の廃校を活用して農家レストラン・宿泊施設や農産物加工施設及び直売施設を整備し、加工した商品を地域の直売所や県内のスーパー、外食事業者へ販売することにより、6次産業化に取り組んでいます。

事業の内容

(株)あいあいファームは、飲食店を展開する親会社に対し有機野菜を提供することを目的として、親会社の農業部門として創設されました。今帰仁村が公募した閉校施設の活用に応募し採択され、学校の面影を残したまま、加工施設、レストラン、直売所、宿泊施設などを整備して活動の拠点としています。沖縄食文化の伝承、食育を理念として、今帰仁村内の耕作放棄地を整備して島野菜などを栽培するほか、施設内には味噌、ドレッシング、島豆腐、沖縄そばなどの加工場も整備されています。

評価ポイント

今回の大臣賞受賞のポイントは次のとおりです。

【強み】

- 安全で健康な食の提供を目指し、有機栽培の野菜を中心に農産物の生産に取り組んでいるほか、加工食品も無添加にこだわり、生産規模を拡大していること。
- 特に若い世代の食に対する判断力を養いたいと「食育」をテーマの一つに掲げ、「食育の里」として社会の人々の心と体の健康に貢献することを目指していること。
- こうした理念に基づき閉校施設を活用して整備した総合施設では、収穫や加工の体験が可能で、沖縄の食文化を実感できると国内外の利用者から好評を博していること。

○(株)あいあいファームの取組により

今帰仁村に約4万人の観光客が誘致されており、沖縄県内における6次産業化認定



閉校となった教室を改装した宿泊施設



近年は、国内の修学旅行生やアジア圏を中心に外国人観光客を受け入れており、SNSを通じて外国人客の利用が増加しています。

事業者のリーダー的存在となっていること。

【課題への取組】

○沖縄在来大豆の栽培を復活させることを通じて、昔ながらの沖縄の食文化の維持・発展を図ろうとしていること。

○「地域に若い人が出て自立することが地域を強くする」との考えから社員には独立を促しており、独立して農業を始めた元社員とは協力関係を築き、農産物を全量買い取るなど支援を継続していること。

○(株)あいあいファームの取組により地域の遊休資産である閉校施設の活用を図るとともに、積極的に地域の人材を採用し、地域経済の活性化に取り組んでいること。

今後の展望

那覇空港に海外LCCが多く発着するようになり、地域としてインバウンド(外国人旅行者)を招き入れる環境が整いつつある中、香港や台湾などからの(株)あいあいファームへの学生ツアーが増加しています。これらの利用者がSNSで情報を拡散し、更にツアー客を呼び込む結果につながっており、国内客の利用が比較的に少ない平日でも集客を図るために今後ともインバウンドに注力することとしています。

特に、海外の学生が沖縄の農業を体験することは、沖縄の農産物を知るきっかけになり、将来、沖縄県産農産物の海外輸出につながることも期待されます。



レストランでは地元農産物を
中心とした料理を提供

農林水産部食料産業課

098-866-1673